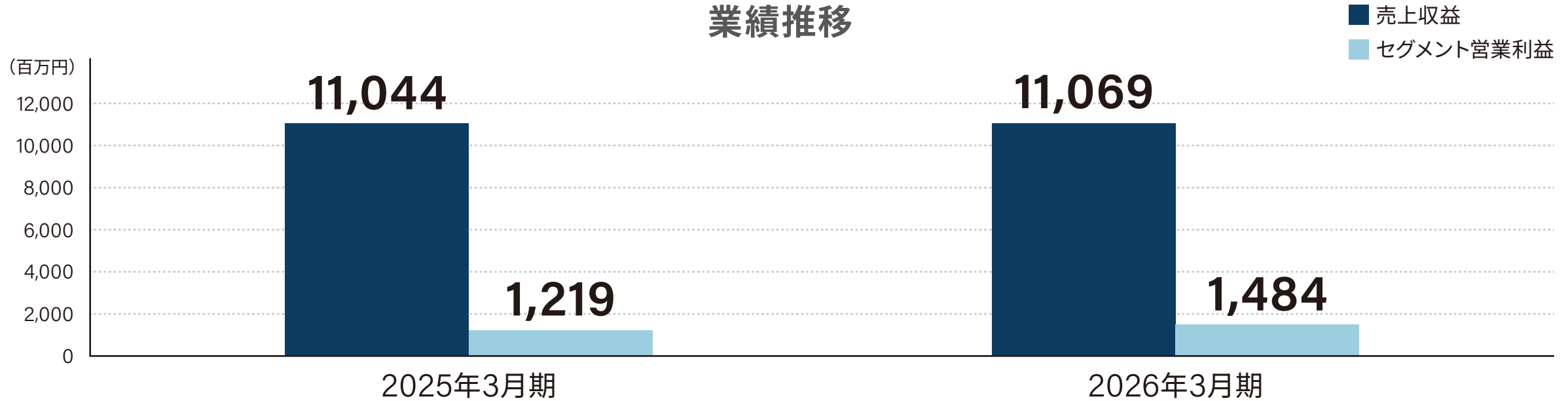




2026

2026年3月期 事業報告
ティアック株式会社

業績推移



■ プレミアムオーディオ機器

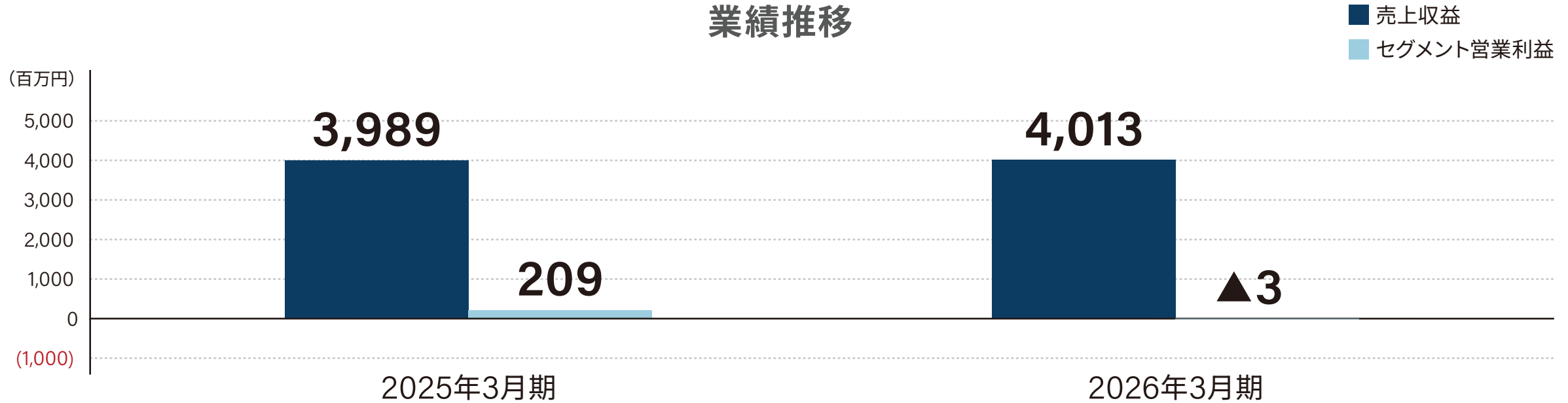
- ハイエンドオーディオ (ESOTERICブランド): ネットワークプレーヤーが前年を大幅に上回るも、SACDプレーヤーは前年実績を下回る
- プレミアムオーディオ (TEACブランド): Referenceシリーズ、ターンテーブルが好調に推移
- 輸入ブランド: Tannoyの製品供給が回復せず
- プレミアムオーディオ機器全体では前期比で減収

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド)

- BtoB事業: 録音再生機器と各種周辺機器販売が好調に推移
- BtoC事業: 中高価格帯製品への安定した需要が継続も、米国通商政策対応の影響を受け、一部出荷を抑制
- 音楽制作・業務用オーディオ機器全体では前期比で増収

■ 音響機器全体では増収増益

業績推移



■ 計測機器

- データレコーダーのリース・レンタル業界向け導入が伸び悩み前期比で減収

■ 医用画像記録再生機器

- 国内消化器内視鏡向けレコーダーが堅調、フラッグシップモデルの手術画像記録用4Kレコーダーの海外販売が伸長したことにより前期比で増収

■ 機内エンターテインメント機器

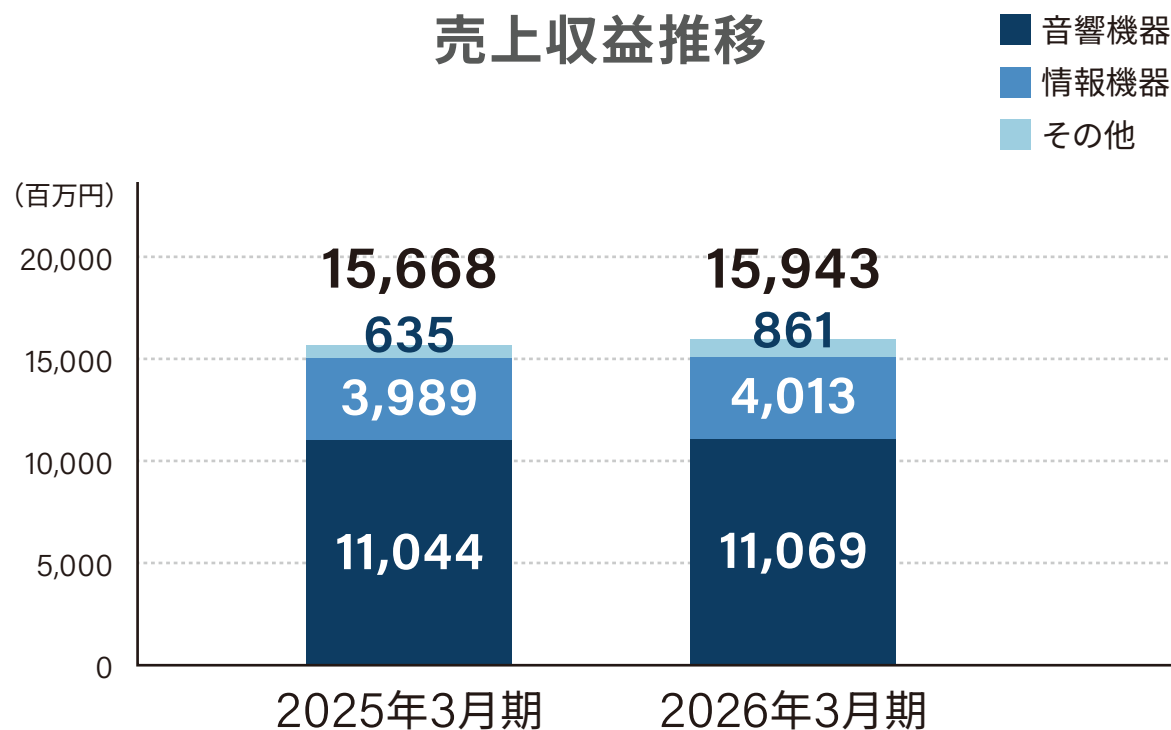
- 国内エアライン向け導入が完了も、海外向け大口案件が先送りとなり前期比で減収

■ ソリューションビジネス

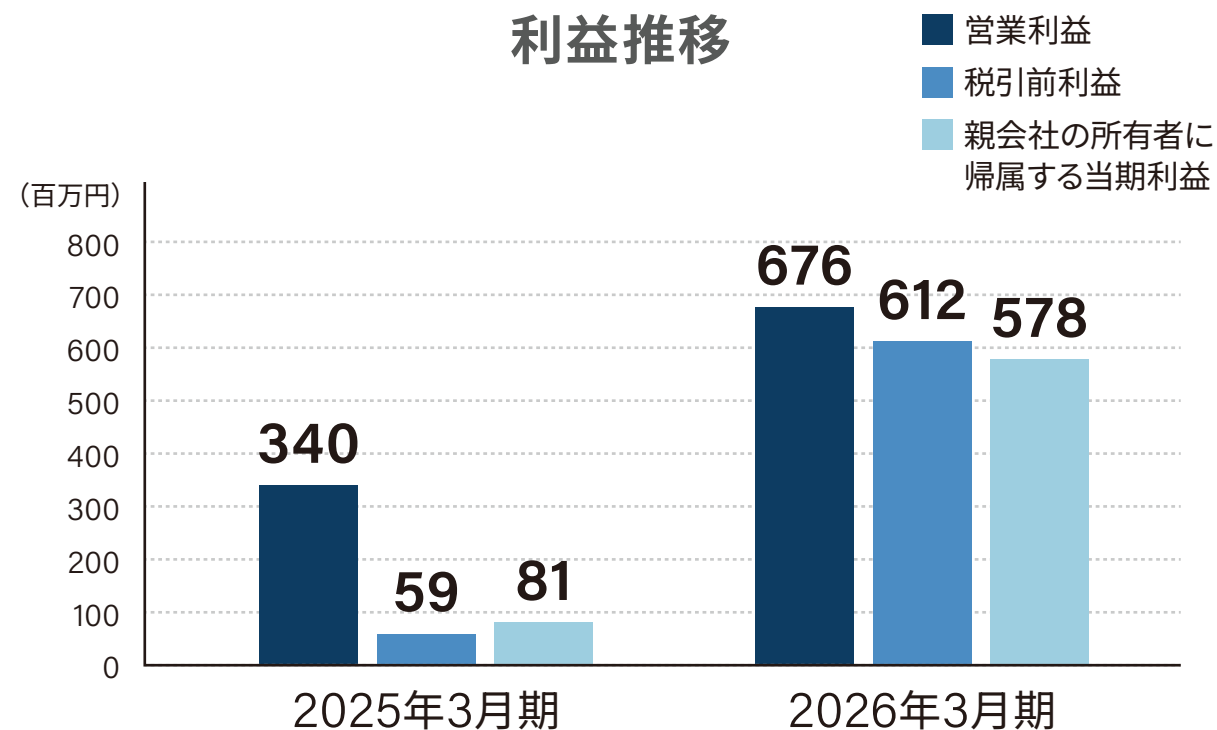
- 医用向けサーバー・PC等の出荷、ネットワーク・インフラの保守サービスが好調に推移し、前期比で増収

■ 情報機器全体では増収減益

売上収益推移



利益推移



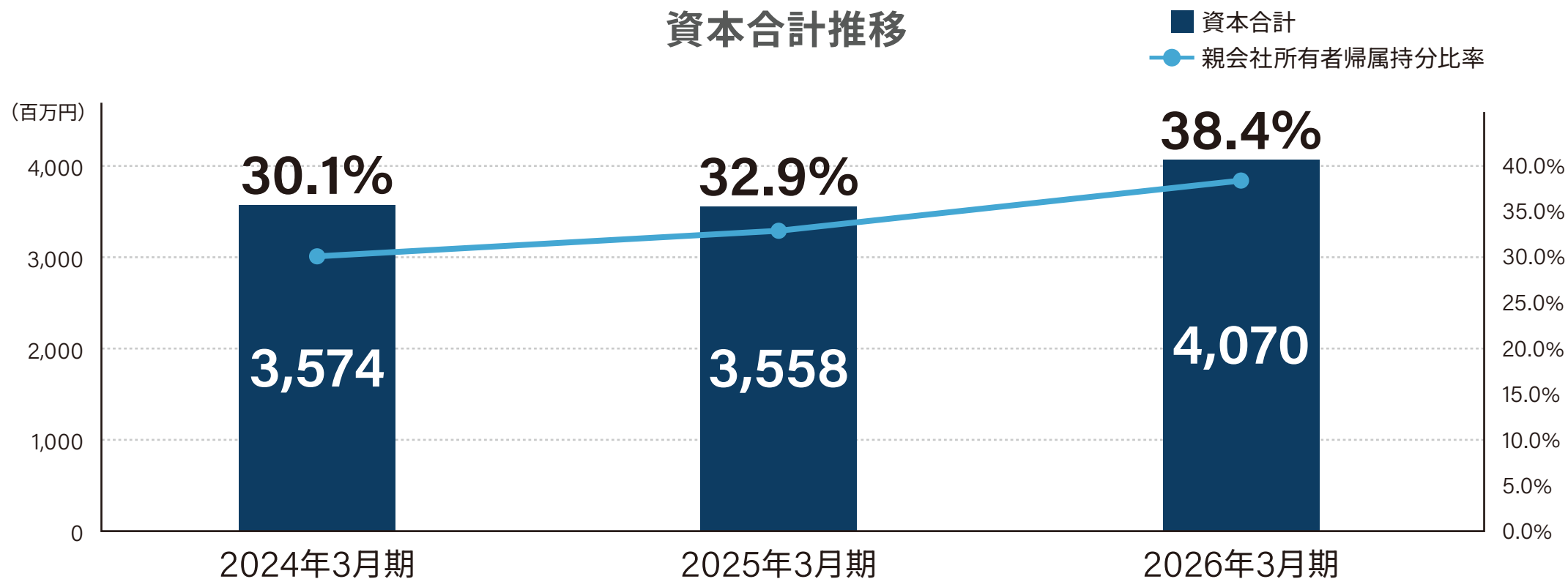
■ 売上収益・営業利益

売上収益は、音楽制作・業務用オーディオ機器 (TASCAMブランド) および医用画像記録再生機器とソリューションビジネスが好調に推移し前期比増加
 営業利益は、収益の増加に加え、連結孫会社清算による特別利益の計上もあり大幅増益

■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

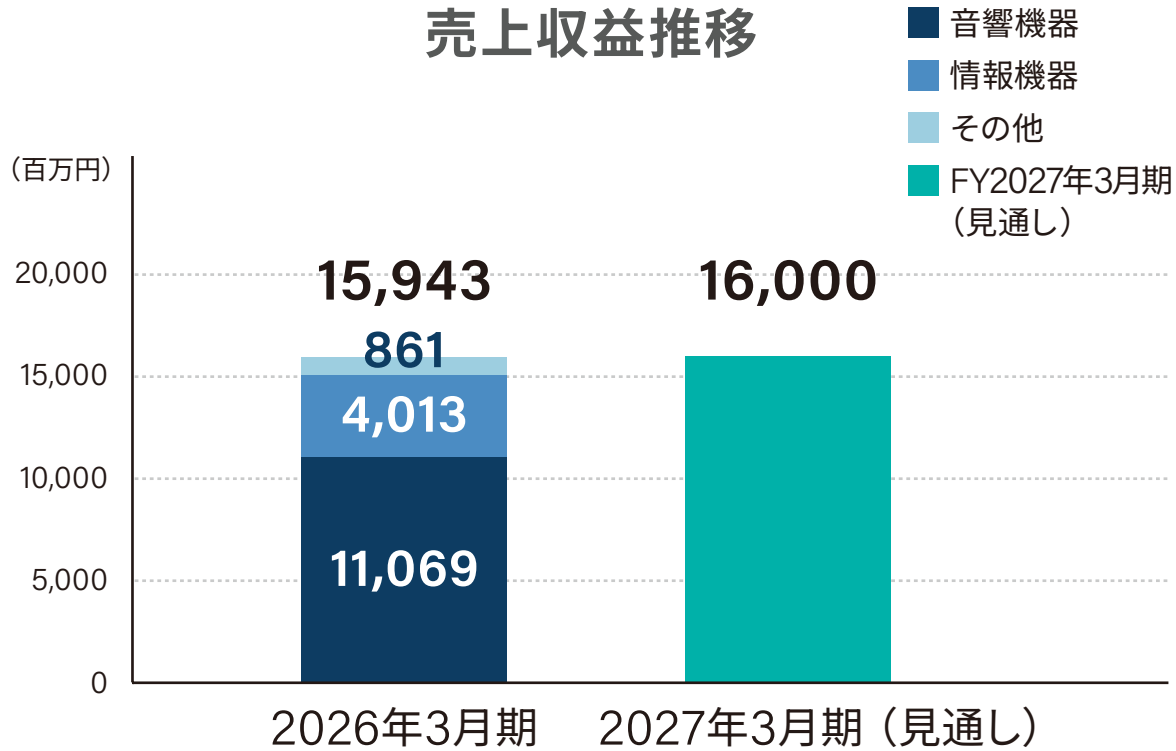
為替リスク対策を含む金融費用の圧縮を進めた結果、親会社の所有者に帰属する当期利益も前期比較で増益

資本合計推移

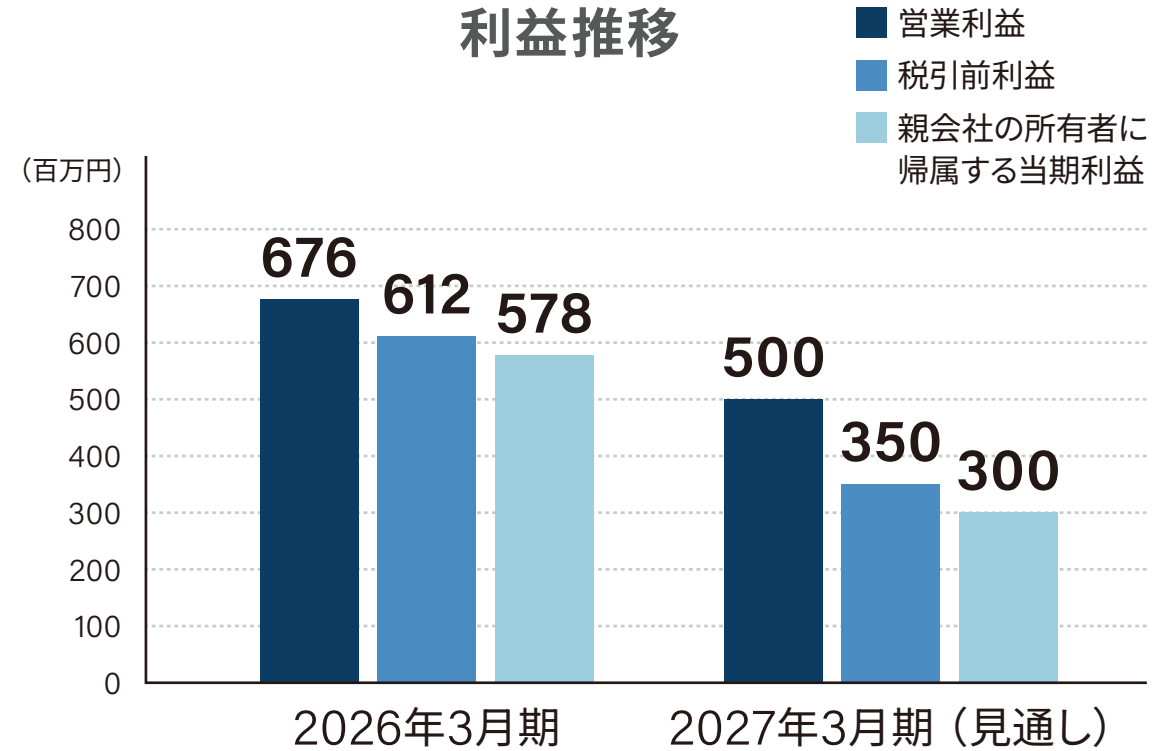


■ 第78期末の資本合計は4,070百万円
自己資本比率は前期比+5.5ppt増

売上収益推移



利益推移



■ 連結業績の見通しは増収減益を見込む

為替相場、原材料価格の変動、各国の通商政策の動向等に加え、世界経済の先行き不透明感や地政学的リスクの高まりにより市場環境が急変する可能性を踏まえ、売上収益の成長率を抑制した計画
前期計上の263百万円の個別開示項目(益)剥落も影響

計画期間	2027年3月期～2029年3月期
計画名称	S-10 - 財務体質改善フェーズを終え、収益性の改善と事業基盤の強化を通じROE 10%以上を堅持 (Sustain) する計画
基本方針	高収益体質への転換および無形資産の収益化を通じ、持続的な企業価値創造を基本方針とする
基本戦略	ニッチトップ戦略 - 特定領域でトップシェアを獲得し、関連製品のシステム・ソリューション展開を通じて堅実な事業拡大を推進する
重点財務目標	ROE 10%以上、営業利益率 5%以上、営業キャッシュフロー 10億円以上
業績目標	2029年3月期売上収益 17,000百万円、営業利益 850百万円
今後の株主還元方針	2029年3月期において、中期経営計画で目標とした営業利益850百万円を達成した場合、配当性向 20%以上とする